西濃厚生病院の緩和ケア病棟に入院された患者さんの医学情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者　所属：緩和ケアセンター長
氏名：小田切拓也

このたび当院では、緩和ケア病棟に入院された患者さんの医学情報を用いた下記の医学系研究を、当院の倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を８．お問い合わせ、に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

１．対象となる方

2023 年 10 月から 2024 年 12 月までの間に、西濃厚生病院の緩和ケア病棟に入院された方

２．研究課題名

承認番号 161

研究課題名　ハロペリドール注射剤と比較した、進行がん患者の終末期のせん妄に対するブロナンセリン貼付剤の使用量：単施設後ろ向き観察研究

３．研究実施機関

西濃厚生病院　緩和ケアセンター

４．本研究の意義、目的、方法

ブロナンセリン貼付剤は、統合失調症の治療薬だが、せん妄に対して使用報告があり、また唯一貼付剤で用いることができることから、経口摂取が困難になった終末期の患者に対する臨床応用が期待される。しかし使用経験は長くなく、実際の使用量などの情報が乏しい。

そこで、せん妄に対する非経口の標準薬であるハロペリドール注射剤と比較した、ブロナンセリン貼付剤のせん妄に対する実際の使用方法を明らかにし、適切な使用方法に関する情報を得る。

方法としては、緩和ケア病棟で入院した終末期のがん患者のせん妄に対し、実際に使用したブロナンセリン貼付剤およびハロペリドール注射剤の使用量を求める。

５．協力をお願いする内容

患者さんの一般的な情報（年齢、性別、原発巣、余命）や、せん妄に対して使用したブロナンセリン貼付剤やハロペリドール注射剤の量を、カルテより参照し、用います。

６．本研究の実施機関

2025 年 5 月～2025 年 12 月

７．プライバシーの保護について

１）　本研究で取り扱う個人情報は、上記のみであり、その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切扱いません。

２）　本研究で取り扱う患者さんのデータ、個人情報をすべて削除し、第３者にはどなたのものか一切分からない形で使用します。

３）　患者さんの個人情報（氏名、病院の ID）と、匿名化したデータを結びつける情報（連結情報）は、本研究の研究責任者が研究終了まで厳重に管理し、病院より外に持ち出すことはありません。また、研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。

８．お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。

また、本研究の対象となる方やそのご家族より、データの提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

連絡先：西濃厚生病院 緩和ケアセンター 小田切拓也

〒501-0532　岐阜県揖斐郡大野町下磯 293－1

☎0585-36-1100、Fax0585-36-3100

西濃厚生病院の緩和ケア病棟に入院された患者さんの医学情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者　所属：緩和ケアセンター
氏名：松原秀紀

このたび当院では、緩和ケア病棟に入院された患者さんの医学情報を用いた下記の医学系研究を、当院の倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を８．お問い合わせ、に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

１．対象となる方

2024 年 7 月から 2024 年 12 月までの間に、西濃厚生病院の緩和ケア病棟に入院された方

２．研究課題名

承認番号　166

研究課題名　緩和ケア病棟における、キワニスドールを用いたケアの活動報告

３．研究実施機関

西濃厚生病院　緩和ケアセンター

４．本研究の意義、目的、方法

緩和ケア病棟に入院中の進行がん患者、特に高齢者はせん妄や寂しさの訴えが多い。そのケアとして、家族が傍にいることが望まれるが、家族も高齢であったり、長時間は居られないことも多い。

キワニスドールは、小児が手術や治療を行う際に病状や治療を理解したり、不安を和らげるために活用される。通常の人形と異なり、表情や衣服などを書き込むことができるため、家族の代わりとしての機能も期待できる。そのため、西濃厚生病院緩和ケア病棟で、不安、抑鬱、寂しさ、せん妄などの症状に対して、臨床心理士に介入してもらい、その中で家族がいない不安感とその症状に関連した患者と家族に対して、キワニスドールを用いたケアを行った。

対象に対して大切に思っている人を聞き、本人または臨床心理士が共働し、表情や服などを描いた。それをベッドサイドに置き、抱きしめたり本人の好むように扱ってもらった。その後、せん妄や寂しさがあった患者は、使用することによりせん妄の症状が落ち着いたり、看護師を呼ぶ

頻度がどうなったかを評価した。

５．協力をお願いする内容

患者さんの一般的な情報（年齢、性別、原発巣、余命）や、キワニスドールを使用したときの効果や反応について、カルテより参照し、用います。

６．本研究の実施機関

2025 年 5 月～2025 年 12 月

７．プライバシーの保護について

1）本研究で取り扱う個人情報は、上記のみであり、その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切扱いません。

2）本研究で取り扱う患者さんのデータ、個人情報をすべて削除し、第３者にはどなたのものか一切分からない形で使用します。

3）患者さんの個人情報（氏名、病院の ID）と、匿名化したデータを結びつける情報（連結情報）は、本研究の研究責任者が研究終了まで厳重に管理し、病院より外に持ち出すことはありません。また、研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。

８．お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。

また、本研究の対象となる方やそのご家族より、データの提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

連絡先：西濃厚生病院 緩和ケアセンター 松原秀紀

〒501-0532　岐阜県揖斐郡大野町下磯 293－1

☎0585-36-1100、Fax0585-36-3100